



NEC Expressサーバ  
Express5800シリーズ

**N8100-888/940/993Y/994Y/1009Y/1010Y**

**Express5800/120Ga**

**ユーザーズガイド**

2003年 7月 初版

2004年 9月 第4版

## 商標について

EXPRESSBUILDERとESMPRO、ExpressPicnic、CLUSTERPROは日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。Xeonは米国Intel Corporationの商標です。DatalightはDatalight, Inc.の登録商標です。ROM-DOSはDatalight, Inc.の商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Adaptecとそのロゴは米国Adaptec, Inc.の登録商標です。SCSI Selectは米国Adaptec, Inc.の商標です。LSI-Logic、MegaRAID、Power Console Plusは米国LSI Logic Corporationの登録商標または商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。DLTとDLTtapeは米国Quantum Corporationの商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2003はMicrosoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition operating systemの略称です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows XP Professional operating systemの略称です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のもので、実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

### <本装置の利用目的について>

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。

ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よろしくお願いいたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。

弊社相談窓口      ファーストコンタクトセンター  
電話番号      03-3455-5800

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるように、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

## **使用上のご注意** —必ずお読みください—

Expressサーバを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

### 安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイドおよび警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



**警告**







人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。






**注意**

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない	<b>注意</b>
 	電源は指定された電圧、電源のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	

# 本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

## 注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

## 行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------





## 行為の強制






	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

# 安全上のご注意

Expressサーバを安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

## 全般的な注意事項

 <b>警告</b>	
	<p><b>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</b></p> <p>本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。</p>
	<p><b>煙や異臭、異音がしたまま使用しない</b></p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>
	<p><b>針金や金属片を差し込まない</b></p> <p>通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。</p>

 <b>注意</b>	
 	<p><b>海外で使用しない</b></p> <p>本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。</p>
 	<p><b>装置内に水や異物を入れない</b></p> <p>装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。</p>

## 電源・電源コードに関する注意事項

### 警告



#### ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



#### アース線をガス管につながない

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

### 注意



#### 指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧で、指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合わせていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



#### たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



#### 中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



#### 指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステーブラなどで固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)



#### 添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

## 設置・移動・保管・接続に関する注意事項

### 注意



#### 2人以下で持ち上げない

本装置の質量は最大35kg(構成によって異なる)あります。2人以下で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。装置は3人以上で底面をしっかりと持って運んでください。また、フロントドアを持って、持ち上げないでください。フロントドアが外れて落下し、けがの原因となります。



#### 指定以外の場所に設置しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



#### 腐食性ガスの発生する環境で使用しない

腐食性ガス(塩化ナトリウムや二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の発生する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこり中に腐食を促進する成分(硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント版が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店や保守サービス会社にご相談ください。



#### プラグを差し込んだままインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インターフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



#### 指定以外のインターフェースケーブルを使用しない

インターフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インターフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

# お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

## 警告



### 自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



### CD-ROMドライブの内部をのぞかない

CD-ROMドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。



### リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーを搭載したものもあります)。バッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



### プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

## 注意



### 高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



### 中途半端に取り付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。













### コネクタカバーを取り付けずに使用しない

内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触して火災や感電の原因となります。



## 運用中の注意事項

### 注意

- |  |  |
|--|--|
|    | <b>巻き込み注意</b><br>本装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。                    |
|  <br> | <b>雷が鳴ったら触らない</b><br>雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。 |
|    | <b>ペットを近づけない</b><br>本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。                                       |
|   | <b>装置の上にものを載せない</b><br>本装置が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。  |
|   | <b>CD-ROMドライブのトレイを引き出したまま放置しない</b><br>引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。                |
|   | <b>近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない</b><br>本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。                     |

# 警告ラベルについて

Expressサーバ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはExpressサーバを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。



**重量物注意  
WARNING:  
HEAVY ITEM**

ざっくり腰や落下事故防止のため移動のさいは3人以上で行ってください。

**To avoid the risk of personal injury or damage to the unit, move the unit with at least three or more people.**



19KG/42 lbs  
OVER 3PCS  
↓



MASS: 18kg  
40 lbs

装置に内部に貼り付けられています。




**注意 CAUTION**





- 高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにしてください。
- 電源を切ってもバッテリーで稼働している部分があります。保守をする前に各々のコンポーネントの取り扱い説明書をお読みください。

●As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use precaution when handling internal components immediately after powering down. Some internal components may still be operational on battery power. Refer to instruction for this system as well as options prior to maintenance.




**注意 CAUTION**


オプションの取付け、取外し時はすべての電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。

電源プラグを抜く 


Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.

ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意ください。


感電注意 

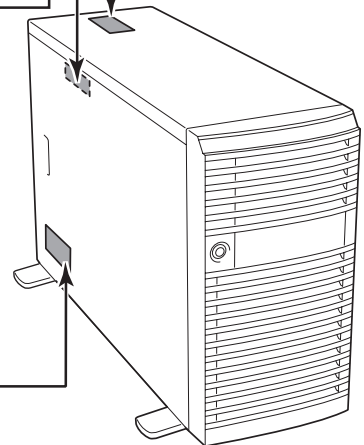
Do not drop any screws inside the system. 

ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザーズガイドを参照し、正しく接続して下さい。誤った接続は、故障や火災の原因となります。

Refer to the "User's Guide" when option boards or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents. 

装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりと持ち上げて下さい。

Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system. 



## 取り扱い上のご注意 — 装置を正しく動作させるために —

正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本体の誤動作や故障の原因となります。

- 本装置が正常に動作できる場所に設置してください。詳しくは74ページを参照してください。
- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本装置の電源がOFFになっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本装置のアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本装置の電源コードをコンセントに接続した後、10秒間は本装置の電源をONにしないでください。
- 本装置の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは30秒以上経過してからにしてください。
- 本装置の電源ON後、ディスプレイ装置の画面に「NEC」ロゴおよびロゴ下側に何らかの文字が表示されるまでは電源をOFFにしないでください。
- 本装置を移動したり、清掃したりする前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的には本装置を清掃してください(清掃は221ページで説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。
  - 装置の輸送後
  - 装置の保管後
  - 装置の動作を保証する環境条件(温度：10℃～35℃・湿度：20%～80%)から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTPサーバ)などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。

装置を保管する場合は、保管環境条件(温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。

- 本装置、内蔵型のオプション機器、バックアップ装置にセットするメディア(テープカートリッジ)などは、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。保管した大切なデータや資産を守るためにも、使用環境に十分になじませてからお使いください。

参考：冬季(室温と10度以上の気温差)に結露防止に有効な時間

－ ディスク装置：約2～3時間

－ メディア：約1日

- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付け/接続できても正常に動作しないばかりが、装置本体が故障することがあります。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクドライブには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
- CD-ROMドライブや5.25インチデバイスに取り付けるオプション(例えばDATなど)は、ソフトウェアのコマンドからトレイまたはメディアをイジェクトできる場合があります。ソフトウェアからイジェクトする場合は、フロントドアが開いていることを確認してからコマンドを実行してください。フロントドアを閉じたままコマンドを実行するとフロントドアにトレイやメディアがぶつかリイジェクトできず、エラーが起きるだけでなく、装置自身の故障の原因となります。



#### 保守サービスについて

Expressサーバの保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

Expressサーバをいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

## 健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

### よい作業姿勢で

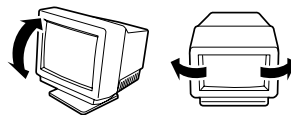
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



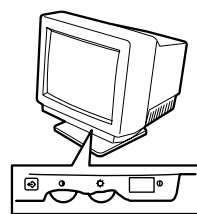
### ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



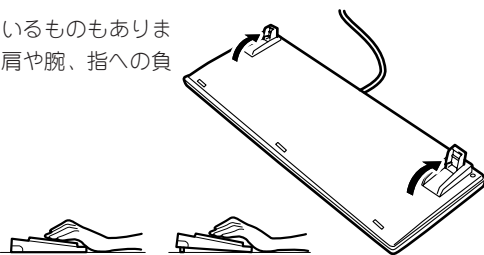
### 画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



### キーボードの角度を調節する

キーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



### 機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

### 疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



# はじめに

このたびは、NECのExpressサーバをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。  
Express5800/120Gaは、最新のマイクロプロセッサ「Intel® Xeon™ Processor」を搭載した高性能サーバです。

NECの最新テクノロジーとアーキテクチャにより従来のサーバでは実現できなかったハイパワー、ハイスピードが実現します。

「高信頼性」はもちろんのこと、「拡張性」を考慮して設計され、ネットワークサーバとして幅広くご利用いただけることでしょう。

Expressサーバの持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

## 本書について




本書は、Expressサーバを正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。Expressサーバのセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常にExpressサーバのそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windowsなど本装置で運用するのオペレーティングシステムや管理PCで使用しているオペレーティングシステム、ならびにやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

## 本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

## 本書の購入について

印刷されたユーザズガイドが必要な場合はお買い求めの販売店に次の型番で申し込んでください。

型番: UL9020-098

また、CD-ROMに収められているオンラインドキュメントの一部は、Express5800シリーズのホームページからダウンロードすることができます。

<http://nec8.com/>

## 本書の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

- 第1編 導入編 ..... Expressサーバを導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになることができるまでのセットアップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しくExpressサーバをお使いになるシステム環境へ導入してください。
- 第2編 ハードウェア編 ..... Expressサーバのハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、オプションの増設方法、Expressサーバにふさわしい設置場所について知りたいときに参照してください。
- 第3編 ソフトウェア編 ..... Expressサーバに添付のソフトウェアについてその機能や使用方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。
- 第4編 運用・保守編 ..... Expressサーバを運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときは、Expressサーバの故障を疑う前に参照してください。

# 付属品の確認

Expressサーバの梱包箱の中には、Expressサーバ本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付のスタートアップガイドを参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



## 付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、Expressサーバが故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」は、紙封筒に包装されています。パッケージの構成につきましては、紙封筒内にある「EXPRESSBUILDER」の構成表を参照してください。また、EXPRESSBUILDER CD-ROMを紛失し、再購入を希望される場合は、販売店へご相談ください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMは、使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。



# 第三者への譲渡について

Expressサーバまたは、Expressサーバに添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

## ● 本体について

第三者へ譲渡（または売却）する場合には、装置に添付されている説明書一式を一緒にお渡しください。



### ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ（例えば顧客情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないように確実に処分してください。

WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア（有償）またはサービス（有償）を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

## ● 添付のソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

# 消耗品・装置の廃棄について

- Expressサーバおよびハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本体のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

- Expressサーバの部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(冷却ファン、装置内蔵のバッテリー、内蔵CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、マウスなど)。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

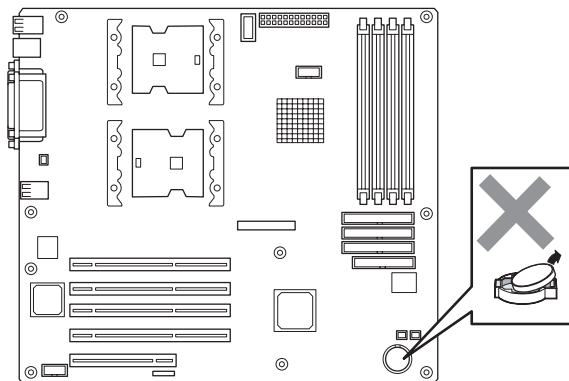


## リチウムバッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーを搭載したものもあります)。バッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

その他、オプションボードに搭載されているバッテリーの位置についてはオプションボードに添付の説明書を参照してください。



マザーボード

# 目 次

⚠ 使用上のご注意 ー必ずお読みくださいー .....	iii
安全にかかわる表示について .....	iii
本書および警告ラベルで使用する記号とその内容 .....	iv
安全上のご注意 .....	v
一般的な注意事項 .....	v
電源・電源コードに関する注意事項 .....	vi
設置・移動・保管・接続に関する注意事項 .....	vii
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項 .....	viii
運用中の注意事項 .....	ix
警告ラベルについて .....	x
取り扱い上のご注意 ー 装置を正しく動作させるために ー .....	xi
はじめに .....	xiv
本書について .....	xiv
本文中の記号について .....	xiv
本書の購入について .....	xv
本書の構成について .....	xv
付属品の確認 .....	xvi
第三者への譲渡について .....	xvii
消耗品・装置の廃棄について .....	xviii

## 1 導 入 編

Expressサーバの特長 .....	2
サーバ管理 .....	4
ストレージ管理 .....	5
電源管理 .....	7
ネットワーク管理 .....	7
導入にあたって .....	8
システム構築のポイント .....	8
運用方法の検討 .....	8
稼動状況・障害の監視および保守 .....	8
システムの構築・運用にあたっての留意点 .....	9
出荷時の状態を確認しましょう .....	9
セットアップの手順を確認しましょう .....	9
各運用管理機能を利用するにあたって .....	12
お客様登録 .....	14
セットアップを始める前に .....	15
ハードウェアのセットアップ .....	15
システムのセットアップ .....	17
Windows Server 2003のセットアップ .....	18
カスタムインストールモデルのセットアップ .....	18
セットアップをはじめる前に ー購入時の状態についてー .....	18
セットアップの手順 .....	18

シームレスセットアップ .....	20
OSのインストールについて .....	21
セットアップの流れ .....	24
セットアップの手順 .....	25
オプションのネットワークボードのドライバ .....	30
障害処理のためのセットアップ .....	31
管理ユーティリティのインストール .....	35
システムのアップデート .....	36
システム情報のバックアップ .....	36
応用セットアップ .....	37
シームレスセットアップ未対応の大容量記憶装置コントローラを利用する場合 .....	37
マニュアルセットアップ .....	38
論理ドライブが複数存在する場合の再セットアップ手順 .....	39
Windows 2000のセットアップ .....	41
カスタムインストールモデルのセットアップ .....	41
セットアップをはじめる前に ー購入時の状態についてー .....	41
セットアップの手順 .....	41
シームレスセットアップ .....	43
OSのインストールについて .....	44
セットアップの流れ .....	47
セットアップの手順 .....	48
オプションのネットワークボードのドライバ .....	53
障害処理のためのセットアップ .....	54
管理ユーティリティのインストール .....	57
システムのアップデート ーService Packの適用ー .....	58
システム情報のバックアップ .....	58
応用セットアップ .....	59
シームレスセットアップ未対応の大容量記憶装置コントローラを利用する場合 .....	59
マニュアルセットアップ .....	60
論理ドライブが複数存在する場合の再セットアップ手順 .....	61

## 2 ハードウェア 編

各部の名称と機能 .....	64
装置前面 .....	64
装置前面(フロントドアを開いた状態) .....	65
装置背面 .....	67
装置内部 .....	68
マザーボード .....	69
ディスクアレイコントローラボード .....	70
IDEホットプラグモデル用 .....	70
SCSIホットプラグモデル用 .....	70
ランプ表示 .....	71
POWER/SLEEPランプ .....	71
STATUSランプ .....	71
DISK ACCESSランプ .....	71
LANアクセスランプ .....	71
アクセスランプ .....	71
ハードディスクドライブのランプ .....	72
LANコネクタのランプ .....	73
設置と接続 .....	74
設 置 .....	74
接 続 .....	76

基本的な操作 .....	79
フロントドアの開閉 .....	79
電源のON .....	80
POSTのチェック .....	81
POSTの流れ .....	81
POSTのエラーメッセージ .....	83
ビープ音によるエラー通知 .....	87
電源のOFF .....	88
省電力モードの起動 .....	88
フロッピーディスクドライブ .....	89
フロッピーディスクのセット/取り出し .....	89
フロッピーディスクの取り扱いについて .....	89
CD-ROMドライブ .....	91
CD-ROMのセット/取り出し .....	91
取り出せなくなったときの方法 .....	92
CD-ROMの取り扱いについて .....	92
オプションの取り付け .....	93
安全上の注意 .....	93
静電気対策について .....	94
取り付け/取り外しの準備 .....	95
取り付け/取り外しの手順 .....	96
サイドカバー .....	96
CPUダクトカバー .....	97
3.5インチハードディスクドライブ(ホットプラグモデル) .....	98
3.5インチハードディスクドライブ(ハードディスクドライブ固定モデル) .....	103
5.25インチデバイス .....	107
PCIボード .....	110
RAIDコントローラボード .....	113
SCSIコントローラボード .....	115
プロセッサ(CPU) .....	117
DIMM .....	121
ケーブル接続 .....	124
インタフェースケーブル .....	124
標準構成 .....	124
SCSIファイルデバイスを搭載する場合 .....	127
内蔵ハードディスクドライブをディスクアレイ構成にする場合 .....	128
電源ケーブル .....	130
システムコンフィグレーション - SETUP - .....	132
起 動 .....	132
キーと画面の説明 .....	133
設定例 .....	134
パラメータと説明 .....	138
Main .....	138
Advanced .....	143
Security .....	149
Server .....	151
Boot .....	153
Exit .....	154
CMOS・パスワードのクリア .....	156
割り込みラインとI/Oポートアドレス .....	158
RAIDコンフィグレーション .....	160
IDEホットプラグモデル .....	160
SCSIホットプラグモデル -MegaRAID Configuration Utility- .....	160
使用上の注意 .....	160

MegaRAID Configuration Utilityの起動 .....	162
MegaRAID Configuration Utilityの終了 .....	163
メニューツリー .....	164
MegaRAID Configuration Utility操作手順 .....	167
オプションPCIボードのBIOS .....	179
リセット .....	180
リセット .....	180
強制シャットダウン .....	180

### 3 ソフトウェア 編

添付のCD-ROMについて .....	182
EXPRESSBUILDER .....	183
起動メニューについて .....	183
EXPRESSBUILDER トップメニュー .....	184
起 動 .....	184
シームレスセットアップ .....	185
ツールメニュー .....	185
マスターコントロールメニュー .....	188
ExpressPicnic .....	189
ExpressPicnicのインストール .....	189
Windows XP/2000・Windows Server 2003・Windows NT 4.0・	
Windows 95/98/Me .....	189
Windows NT 3.51 .....	190
セットアップパラメータFDの作成 .....	191
追加アプリケーションのインストール .....	193
オプションの大容量記憶装置ドライバのインストール .....	194
稼動機からの情報採取 .....	195
大量インストール .....	196
Express本体用バンドルソフトウェア .....	197
ESMPRO/ServerAgent (Windows版) .....	197
インストール前の準備 .....	197
インストール .....	198
インストール後の確認 .....	198
Power Console Plus (サーバ) .....	199
カスタムインストールモデルでのセットアップ .....	199
シームレスセットアップを使ったセットアップ .....	199
手動インストール(新規インストール) .....	199
FastCheck .....	201
カスタムインストールモデルでのセットアップ .....	201
シームレスセットアップを使ったセットアップ .....	201
確認事項 .....	201
パスワードの設定 .....	202
運用上の注意 .....	202
新規インストール .....	202
エクスペレス通報サービス .....	203
カスタムインストールモデルでのセットアップ .....	203
手動インストール(新規インストール) .....	204
テープ監視ツール .....	206
カスタムインストールモデルでのセットアップ .....	206
手動インストール(新規インストール) .....	206

ESMPRO/UPSController Ver.2.1 .....	209
インストール済みのESMPRO/UPSControllerのセットアップ .....	209
新規インストール .....	211
PowerChute <i>plus</i> Ver.5.11J/5.2J .....	213
カスタムインストールモデルでのセットアップ .....	213
新規インストール .....	214
管理PC用バンドルソフトウェア .....	215
ESMPRO/ServerManager .....	215
MWA —Management Workstation Application— .....	215
Power Console Plus (管理PC) .....	216
Power Console Plus (管理PC) をインストールする前に .....	216
Power Console Plus (管理PC) のインストール手順 .....	216
Power Console Plus (管理PC) の環境設定 .....	217

## 4 運用・保守編

日常の保守 .....	220
アラートの確認 .....	220
バックアップ .....	221
クリーニング .....	221
本体のクリーニング .....	221
キーボード/マウスのクリーニング .....	222
CD-ROMのクリーニング .....	223
テープドライブのクリーニング .....	223
システム診断 .....	224
システム診断の内容 .....	224
システム診断の起動と終了 .....	224
障害時の対処 .....	227
障害箇所の切り分け .....	227
エラーメッセージ .....	228
POST中のエラーメッセージ .....	228
ランプによるエラーメッセージ .....	228
Windows Server 2003/Windows 2000のエラーメッセージ .....	228
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ .....	229
トラブルシューティング .....	230
Expressサーバについて .....	230
Windows Server 2003について .....	235
Windows Server 2003/Windows 2000について .....	235
EXPRESSBUILDERについて .....	238
シームレスセットアップについて .....	239
マスターコントロールメニューについて .....	242
ExpressPicnicについて .....	244
ディスクアレイについて (SCSIホットプラグモデル) .....	244
ディスクアレイについて (IDEホットプラグモデル) .....	247
ESMPROについて .....	247
障害情報の採取 .....	248
イベントログの採取 .....	248
構成情報の採取 .....	249
ワトソン博士の診断情報の採取 .....	250
メモリダンプの採取 .....	250
システムの修復 .....	252
修復手順 —Windows Server 2003— .....	252
修復手順 —Windows 2000— .....	252

オフライン保守ユーティリティ .....	255
オフライン保守ユーティリティの起動方法 .....	255
オフライン保守ユーティリティの機能 .....	255
移動と保管 .....	256
ユーザーサポート .....	257
保証について .....	257
修理に出される前に .....	258
修理に出される時は .....	258
補修用部品について .....	259
保守サービスについて .....	259
情報サービスについて .....	260
付録A 仕様 .....	261
付録B 保守サービス会社網一覧 .....	263
索引 .....	267

#### オンラインドキュメントについて

添付の「EXPRESSBUILDER」JCD-ROMには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- ユーザーズガイド(本書)
- Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition/Microsoft Windows Server 2003 Enterprise Editionインストールサブプリメントガイド\*
- Microsoft Windows 2000 Server/Microsoft Windows 2000 Advanced Serverインストールサブプリメントガイド\*
- ESMPRO/ServerAgent (Windows版) インストールガイド
- ESMPRO/ServerManagerインストールガイド
- ディスクアレイコントローラ (IDE) オペレーションガイド
- Power Console Plusユーザーズガイド
- FastCheckユーザーズガイド
- エクスプレス通報サービスインストールガイド
- テープ監視ツールセットアップガイド
- Express Server Management Guide

\* 通常はシームレスセットアップにてインストールされることをお勧めします。